

## 【町民福祉課からのお知らせ】 虐待かも・・・と思ったら

児童虐待に関する相談対応件数は依然として増加傾向にあります。

特に幼い子どもの生命が奪われるなど重大な事件が後を絶たず、児童虐待は社会全体で解決すべき課題となっています。一人でも多くの方々に関心を持ってもらうことが大切です。

- 近所から叩く音や叫び声が聞こえる
- 不自然な傷が多い子どもがいる
- 衣服や体がいつも極端に汚れている子どもがいる
- 小さな子どもを置いて頻繁に外出している
- 車内に子どもが放置されている など

その気づきによって大切な命が守られることがあるかもしれません。虐待を受けたと思われる子どもを見つけたときや、ご自身が出産や子育てに悩んだときには、児童相談所、町民生・児童委員などに早めにご連絡ください。



### 【虐待と思ったらすぐお電話を】 児童相談所全国共通ダイヤル ☎ 189

(匿名でも結構です。また、通告者のプライバシーは法律で保護されています。)

オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

問合せ 町民福祉課 児童福祉対策室 ☎ 21-2120

北海道中央児童相談所 ☎ 011-631-0301

## 【気象台からのお知らせ】 大雪や暴風雪による災害への備え

大雪や暴風雪は、北海道付近を低気圧が通過する時や、冬型の気圧配置で季節風が強まる時などに発生します。また、石狩湾付近に小さな低気圧が発生すると局地的に短い時間で大雪や暴風雪になることがあります。

大雪や暴風雪により、道路の通行止めや交通機関の運休などのほか、車が立ち往生して身動きが取れなくなることがあります。また、大雪によるなだれや停電、ビニールハウスの倒壊や倒木といった被害も発生します。

札幌管区気象台は、大雪や暴風雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想した時には、それぞれ「大雪警報」や「暴風雪警報」を発表し、警戒を呼びかけます。

最新の気象情報や雪の状況は、テレビ・ラジオやインターネットで確認できます。また、気象台は関係機関と共同で「暴風雪への備え」に関するリーフレットを作成しています。

これらの情報を有効に活用して大雪や暴風雪による災害に備えましょう。

大雪や暴風雪による被害に遭わないために、次のことに留意しましょう。

### 雪は時間と場所によって降り方が大きく変化する

- 季節風が強い時は、今いる場所が晴れていても、少し離れた場所では大雪や暴風雪となっている場合があります。
- 低気圧の通過や地形の影響で、風の強さや見通しが急激に変化する場合があります。
- 晴れていたとしても、風や雪があつという間に強まり一瞬で暴風雪に変わることもあるので、天気の変化には十分注意が必要です。

### 車の立ち往生への対応

- 後続車から追突されないように、ハザードランプを点滅させたり、停止表示板を置きましょう。
- 車内で救助を待つときには、排気ガスによる一酸化炭素中毒や低体温症に十分注意が必要です。
- 原則エンジンを停止し、防寒着や毛布、新聞紙などで体温の低下を防ぎましょう。
- 防寒等でやむを得ずエンジンをかけるときには、排気管出口を確実に大気へ開放し、追加の降雪やふきだまりによる再埋没に注意しましょう。

### 除雪作業時の注意

- 雪による事故の死者の多くは、屋根の雪下ろしなど除雪作業時の事故によるものです。除雪は必ず2人以上で作業しましょう。また、屋根の雪下ろしでは命綱をつけるなどして安全性を高め、事故を未然に防ぎましょう。
- 屋根からの落雪に注意しましょう。

札幌管区気象台ホームページ「暴風雪への備え」

<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/bousaikyouiku/schoolbousai/boufusetu/boufusetu.html>

問合せ 札幌管区気象台天気相談所 ☎ 011-611-0170



リーフレット  
「できていますか？  
暴風雪への備え」

## 余市町の空間放射線量率の状況

空間放射線量率は「**平常レベル**」でした

測定日：10月24日～11月21日  
最高値：73 nGy/h  
最低値：33 nGy/h  
平均値：41 nGy/h

※直近の測定結果については、町ホームページでご覧いただけます。

私たちは日常的に自然界から微量の放射線を浴びています。平常時に測定される「空間放射線量率」は10～60ナノグレイ毎時(nGy/h)程度で、雨が降ると一時的に上昇する場合があります。

問合せ 地域協働推進課 ☎ 21-2142